

< Vol.28 の記事 >

ジュニアユース 日本クラブユース(U-15) 二次予選進出！ ユース危機一髪セーフ 日本クラブユース 関東リーグ戦始まる！

【ジュニアユース 二次予選進出！】

前号でお知らせしましたように、4月6日より日本クラブユース(U-15)選手権埼玉県予選大会が始まりました。

浦スポJYは、

4月6日 vs 大宮西 0 - 0

4月13日 vs 上里 4 - 0

4月20日 vs プレジャー 1 - 2

で、見事二次予選リーグに進出しました。

初戦の大宮西戦は、強風の中お互いにリズムがつかず、一進一退を繰り返す試合内容となりました。

全体的には押していたような感じでしたが、フィニッシュまでいく回数が少なく、反対に相手には後半いくどとなくビックチャンスをもかえられました。GK松井のファインセーブでしのぎ、最終的には0 - 0で引き分けとなりました。



強風の中の大宮西戦

二戦目は、強豪上里との対戦になりました。結果は0 - 4でしたが、このうち3点は試合開始から10分程度に入れられたものです。立ち上がりの集中力を欠いた時間帯だったことが悔やまれます。

後半は、塩見の「GKも抜いて、やった1点！」と思われたシュートがグラウンドの凸凹でコースが変わり枠を外れてしまうなど、対等な戦いをしてみせました。

立ち上がりの集中力を欠いた要因として、アップ

不足があげられます。実は、当日は好天に恵まれたところ、長瀬方面へのドライブ、BBQ客が思いの外多く、関越花園インターで大渋滞に巻き込まれたことから、グラウンド到着が試合開始の45分ほど前になってしまったという誤算がありました。

集中して試合に入っていれば・・・と。。でも、これもいい経験と思ひましょう！

三戦目のプレジール戦は、なんと修学旅行で渡辺、松井の攻守の要を欠くなか、11名ギリギリでの試合となりました。

この試合は残された3年生5人だけでなく、初のフル出場1年生悠太も含めた11人全員のガンバリにより見事勝利をあげました。

急造GK山崎のファインセーブと落ち着いたキャッチングが応援団の語り草となりました。。

【速報！！ ジュニアユース 二次予選】

4/27(日)、二次予選リーグが始まり、浦スポJYはシードチームの強豪フェスタと対戦。

惜しくも0 - 3で敗れました。

2失点は0 - 1の後半終盤に点をとりにいった結果です。

冬の練習試合では大差をつけられた相手でしたが、ここにきてかなり良い試合内容ができたことから、残り2戦(29日、3日)思う存分自分達の持てる力を出してきてほしいと思います。

サッカー広場なども含めて意思疎通良く熱心に指導をしてくれている学生コーチ陣(草間、山崎、宮崎、山方)の努力が結果にあらわれてきています。

【ユース 無事関東リーグ参戦！】

受験勉強モードに入った3年生の急な離脱などにより、リーグ戦参加が数日前まで危ぶまれたユースコースですが、新監督金子さんの細やかなフォローと、昨年からの新2年生の熱意により、各学年で新加入が相次ぎ、無事リーグ戦に参戦しています。

もっとも、私学の仲間が多く、土曜日も休みでな

いことが多いことなどから、毎試合けっこうヒヤヒヤものですが、2試合を終えました。

4/9 vs 図南 1 - 9

4/27 vs レイソル青梅 0 - 4

新加入5～6名を含み、新チームでの試合は、直前のJYとの練習試合のみという状態で臨まざるをえなかった初戦は、残念ながら大敗となりましたが、失点の大半はちょっとした修正で防げる場合が多く、1点をとった1年生FW菅原君を始め、雨の悪コンディションの中でしたが、みな頑張っていました。

2戦目は、朝7時前に武蔵浦和発というハードな工程で日の出町まで赴き、これまで4戦全勝のレイソル青梅との対戦でした。

主力3名を風邪と怪我で欠く苦しい戦いでしたが、初戦よりもかなりいい形をつくれるようになり、前半は「同点か！」と思われた中川のシュートがバーをたたくなど、まずまずの試合内容でした。

後半になり体力不足が目立つようになり、特にパツパツと足の止まった後半35分頃に立て続けに2失点をくいましたが、交替選手がいれば・・・と思われる状況でした。

金子新監督をむかえ、やっと人数がそろった練習ができるようになってきています。走力、体力をつけ、なによりもお互いのプレーの特徴を理解していけば、まだまだ伸びしろ（というか、ほとんど現時点ではベースライン）のある楽しい仲間が集まってきました。

1～2年生が多いことから、あせらず長い目でみながら経験を積んでいってほしいと思います。



ユース 2003 年度初戦は雨の三浦

【選手 リーグ戦1勝 ブロック1敗】

3月末から市民リーグが始まっています。

浦スポ選手コースは、初戦のブロックリーグ（vs 大原リカーズ）は0 - 2で落としましたが、2部リーグ初戦となるヨントス戦は2 - 1で無事勝利を納めました。

県3部への飛び級もしくは、リーグ1部への1年での復帰を目指して今後も頑張ってください。

【けやき 1勝1敗】

生涯若手コースの参戦する市けやきリーグもすでに2戦を消化しています。

初戦となった好敵手（相手はそう思ってくれてないかもしれないけど、仙龍でも良く飲み会一緒になるし・・・？）GARAPAGOには、前半に4失点を喫し、後半は盛り返したもののそのまま敗れました。

2戦目の駒場MFC戦では、先制点を許したものの後半終盤にかけて得点ラッシュとなり5 - 2で制しました。

2戦とも、直前まで参加人数の確認ができておらず、11人確定ができたのは当日の試合開始30分前という状態が続きました。

キャプテン石井君が体調不良で欠席がちですが、生涯若手はまだまだ入会年数も若い方が多いことから、何人かいる古株メンバーがとりまとめに頑張ってもらわないと、大変なことになると思います（試合人数の不足、出席義務の会議の欠席＝失格などが懸念されます）。シニアリーグが5月から始まりますので、助っ人参加は期待できなくなります。奮起を期待します！

【シニア リーグ戦はじまりま～す！】

シニアの初戦が5月18日（日）13時堀崎に決定しました。なんと、最初からけやきとぶつかっています。さらには、ユースの彩の国カップともバツィング！なお、シニアは、今年度よりover40のグラウンドシニアにも参戦しています。

【強力な援軍現る！？】

ユース監督金子さんの紹介で、市内緑区在住の熊谷直樹さんが、JYの帯同審判（3級）や、サッカー広場、JYやYの練習の手伝いをしてくださいっています。

出身は陸上（公認の審判員資格をお持ちです！）だそうですが、十年前にご子息のサッカー少年団の世話が発端で、審判員、指導員（地域C）の資格をとられたとのこと。若手が多いサッカー広場などで貴重な助言をあたえてくださっています。

この4～5月の大会シーズンも、JYの帯同主審をご担当いただいております。3級審判探しに苦労していたクラブとして大変助かっています。

今後もよろしく願います！

浦和SCニュースは、クラブ内の情報交換を図ることを目指して発行しています。

今年度より、サッカー広場でも配ることにしました！

HPでは、ニュースをカラー配信しています。